

## 執筆要領

1. 原稿の様式：
  - 1) 和文または英文の原著，事例報告，その他評論，解説，翻訳などで未発表のものとする。総説は依頼原稿を原則とする。
  - 2) 原稿の様式は題名・所属・著者名，英文要旨，索引用語，本文，文献，図表の順に記述する。英文の場合は和文に準ずる。
2. 原稿の書き方：
  - 1) 原稿は和文の場合横書き A4 判 400 字詰原稿用紙を用いる。同じ字詰のワードプロセッサによるものでも差支えない。英文論文は A4 判ダブルスペースでタイプする。
  - 2) 和文原稿には英文の英文原稿には和文の表題，著者名，所属を併記する。
  - 3) 英文要旨：

要旨は A4 判ダブルスペース 250 語以内とする。要旨は抽象的記述でなく，目的，方法，成績，結論などの具体的な数字，内容を簡明にまとめる。
  - 4) 索引用語 (Key words)：5 個以内とする。
  - 5) 現代かな遣いにしたが，常用漢字とする。
  - 6) 度量衡は原則として SI 単位とする。
  - 7) 外国人名，薬品名などの科学用語は原語のまま，またはカタカナとする。原語の場合，固有名詞，ドイツ語名詞の頭文字は大文字とする。
  - 8) 論文にしばしばくりかえされる語は略語を用いて差支えないが，初出のときは完全な用語を用い，以下に略語を使用することを明記する。
  - 9) 枚数制限：
    - a. 原著は文献，図，表を含め，和文では 400 字詰原稿用紙 40 枚以内，英文では A4 判ダブルスペース (24 行) で 20 枚以内とする。ただし，図，表は合計 10 枚以内とする。
    - b. 事例報告は文献，図，表を含め 400 字詰原稿用紙 20 枚以内，英文では A4 判ダブルスペース (24 行) で 10 枚以内とする。ただし図，表は合計 10 枚以内とする。
    - c. 総説その他の原稿は原則として原著に準ずる。
  - 10) 図 (写真) および表：
    - a. 図 (写真) および表はそのまま印刷できる明瞭なものとする。
    - b. 大きさを希望する場合は寸法を明記する。
    - c. 図 (写真) および表にはそれぞれ番号をつけ，一括して原稿の末尾に添える。原稿中には挿入場所を欄外余白に朱書きする。
    - d. 図 (写真) および表には表題をつけ，必要に応じて説明文をつける。
    - e. 写真は手札以上の大きさにプリントした鮮明なものに限る。
    - f. 図，表の 1 枚は和文の場合 400 字詰原稿用紙 1 枚，英文の場合は A4 判ダブルスペース 1 枚に相当するものとして取り扱う。
    - g. 原則的には，表 (図，写真) を 2 つ以上組み合わせにして表 1，(図 1) とはしないこと。組み合わせた場合はその総枚数によって本文の枚数を勘案すること。
    - h. 論文の最初の頁は右頁 (奇数頁) から開始し，白紙の頁を作らないため表または

図（写真）は編集上その大きさを調整することがある。

11) 文献：

- 1) 文献は本文中に肩付けした引用番号順に配列する。
- 2) 著者名はすべての者を明記する。
- 3) 誌名略記は Index medicus または慣用略称を用いる。
- 4) 文献の記載方法

a. 雑誌

著者名：表題，雑誌名，巻，頁（起始頁—最終頁），発行年（西暦）

(例) 片倉 剛, 大石幹雄, 鈴木正吾: X線 TV による多層横断面の合成法, 断層撮影会誌, **11**, 33-36, 1984

(例) Tanabe, F., Ogata, M., Ito, M.: Low-density lipoprotein oxidized by polymorphonuclear leukocytes inhibits natural killer cell activity, *J. Leukocyte Biol.*, **43**, 204-211, 1988

b. 単行本

著者名：表題，編集者，書名，版数，発行所名，発行地，発行年(西暦)，引用頁（起始頁—最終頁）

(例) 三輪史郎: 血色素量と赤血球酵素, 小酒井 望, 河合 忠編, 検査データの読み方・考え方, 7版, 宇宙堂八木書店, 東京, 1984, p. 20-28

(例) Gretch, R.J.: Newly licensed Hepatitis B vaccine, *Viral Hepatitis B*, 2nd ed., Plenum Press, New York, 1990, p. 189-194

c. 訳書

(原則的には原著を引用すること)

(例) Freeman, K., Heinrich, H.K.: *Community Health Nursing practice*, Saunders, Philadelphia, 1981: 橋本正巳監訳, 地域保健と看護活動—倫理と実践—, 医学書院サウンダース, 東京, 1985, p 192-199

(例) Pedritti, L.W.: 身体障害者の作業療法, 小川恵子, 山口 昇, 青木真由美訳, 協同医書出版, 東京, 1985, p 103-115

3. その他：

- 1) 論文は原則として、フロッピー（テキストファイル化）とそのプリント1部を提出すること。
- 2) 投稿に際しては「投稿届」を提出する。なお投稿届（書類）は委員長から受け取ること。
- 3) 投稿に際しては投稿届に本文，文献，図（写真），表などの枚数を明記する。
- 4) 略題（ランニングタイトル）は，和文の場合 20 字程度，欧文の場合は 5 語程度として投稿届に付記すること。